

## 2015年 3月1日 第5回デザインコンテスト授賞式 報告書

主催 株式会社 ブルーミング・ライフ  
共催 NPO 法人 ドリーム・ガールズ・プロジェクト

日時	2015年 3月1日 10時～12時半
場所	カンボジア王国 プノンペン ヒマワリホテル アpartment

2015年3月1日に、プノンペンのヒマワリホテルにて、第5回デザインコンテスト授賞式を開催いたしました。

### 【1】コンテスト開催の目的

途上国の問題として重要なキーは、女性の経済的自立とそのリーダーの存在です。カンボジアには、「女性の地位が低い」、「女性の就業機会が少ない」、「プロとして活躍するデザイナーがほとんどいない」という課題があります。将来、国を代表するデザイナーとして羽ばたき、他の女性たちが目標とするシンボルとなるような女性、そしてデザインを通じた未来の女性リーダーの創出をしていくために機会創出の場をつくる、それが、このコンテスト開催の目的です。

### 【2】授賞式ハイライト

#### **ドリーム・ガールズと日本人サポーター達、メディア人が集まる！**

今回の応募作品数は324点。授賞式には、コンテスト応募者129名中、約80名が一次予選通過者として参加、応援にかけつけたカンボジア学生を多く含む男女は220名、スポンサー・協力企業の方々（後述）、現地にお住まいの日本人の方々など、合わせて約400名の方々にご出席いただき、開催以来、最大規模の授賞式となりました。カンボジアで、若い女性が主役となるイベントは珍しく、地元テレビ局3局、新聞社2社から取材をしていただきました。

#### **名だたる豪華ゲストの方々をお招きしました**

日本からはベストセラー作家の浅見帆帆子様をスペシャルゲストとしてお招きし、カンボジアの若い男女に向けて夢のある応援のスピーチをいただきました。AEON MALL プノンペンからは社長の矢島誠様には「世界に通用する未来」に向けてのお言葉をいただきました。省庁からは前年度に引き続き文化芸術省のエク・ブンタ局長、ロイヤルユニバーシティファイナンス学長であるソ・チェンダ様、日本大使館の方々など、カンボジアを代表してご活躍の多くの方々も参列くださり、カンボジア女性の晴れ姿をご覧になりました。

## 豪華審査員の方々にご出席いただきました

今年は各分野で活躍されている方々を審査員として迎え、デザインの審査に加わっていただきました。また、当日は8名中7名の審査員の皆様にご出席いただき、カンボジア女性の晴れ姿をご覧いただきました。

〈アートデザイン部門 審査員 4名〉

AEON MALL (CAMBODIA) Co., Ltd : Managing Director 矢島 誠 様

Sabay Digital Corporation : CEO Mr. Chy Sila 様

WORLD (CAMBODIA) Co., Ltd : Managing Director 椎原 忠彦 様

Rabbit Radiance Co., Ltd : CEO 緒方 陽一 様

〈※ビジネスデザイン部門 審査員 4名〉

YAMADA SCHOOL OF ART : 代表および日本画家 山田 隆量 画伯

FASHION PORT TOKYO : Director 石本ヒデキ 様、プロデューサー 大久保ユウヤ 様

ココチキヤム : 取締役 河内 利成 様

DREAM GIRLS Project 代表理事、Blooming Life International CEO

DREAM GIRLS Design Contest 主催者 : 温井 和佳奈

※ ビジネスデザイン部門…今年新たに設けたこの部門は、ビジネスの視点からデザインを審査する部門です。各企業様に選ばれた受賞者のデザインは、今後開発する商品の商品開発から、デザインが採用されるまでに携わるチャンスを与えられます。

## 名前が発表されることに歓声が上がりました！

授賞式では、名前が発表されることに歓声が上がりました。

今回の課題は前年と同じく、カンボジアの世界遺産「アンコールワット」、宮廷ダンス「アプサラダンス（天女の舞）」、カンボジアの自然からモチーフを選び抽象化、それをデザイン展開するというものでした。

アートデザイン部門にて1位に輝いたのは、ヘン・ソマリカ。今年はニューフェイスの受賞者が非常に多く、彼女もその1人です。彼女はドリーム・ガールズ・デザインコンテストに今年初めて応募し見事1位を獲得。彼女の夢はデザイナーになり服をデザインすること。医者になるため大学では医学を選考していますが、デザインをすることは大好きだそうです。

自分の名前が呼ばれた時はまさか自分が、と信じられない気持ちだったそうですが、今はこのような機会を与えてくれたドリーム・ガールズ・デザインコンテストに大変感謝していると話してくれました。

## デザインの勉強の道が開けた！ ドリーム・ガールズ7名奨学生へ！

カンボジアの芸術を世界へ出す活動をされている審査員の山田隆量先生がドリーム・ガールズを奨学生として今年も7名を受け入れてくださることが確定しました。（昨年は6名）私どもも2016年に向けて、デザイン・スクール開校の準備をしています。

### **【3】裏方のサポートをしてくださった全ての方々へ心からの感謝**

コンテストが始まり5年目ということで、2014年の夏から裏方のスタッフは準備に入りました。サポーターであり審査員でもあるココチキャムの河内氏も交えて、ブレストを始めました。どうしたら実践的な経験ができるのか、どんなことがあればドリーム・ガールズのデザインが世界に広がるきっかけになるのかなど、多くの素晴らしいアイデアをいただいたことで、今年の内容が深まりました。

2014年11月から応募要項を配布し始め、WakaNa Shopの渡辺をはじめとするカンボジア人スタッフも総出でプノンペンのあるゆるスクールを回り、温井と渡辺においてはスピーチが許される場所においてはできる限りコンテストのスピーチをし、有名大学/学校だけでなく、孤児院にも訪問しデザインの描き方の説明をして、実際にデザインを描くということにチャレンジしてもらうなど、積極的に幅広い告知活動をしました。

またバタンバン、シェムリアップエリアにおいては、カンボジア全域をカバーする日本語のフリーマガジンであるクロマーマガジン様に事務局をおいていただきました。編集長の矢羽野様の指揮の下、プノンペンにいる私達にはできないエリアの告知活動をしていただけました。

特にカ女性のンボジア人スタッフの方々が「公立高校では学校側がブロッシャーの配布を認めてくれなかったのですが、彼女たちはめげずに、下校時間を狙って校門前でビラ配りを自主的にしてくれました。」と編集長の矢羽野さんからメールをいただいた時には、裏方のスタッフの頑張りがあった上でのコンテストだと改めて思いました。

舞台のバックを素敵にデザインし写真撮影をしてくださったデザイナーの奥田氏、盛り上げのMCをしてくださったカンボジア女性起業家のケムラさん、プノンペンポストのドイツ人ジュリアスさん、特別演出をしてくださったCBTCの土居先生、キムリアンさん、音楽をいただいたレストラン四季の青山さん、当日の受付を手伝ってくださった方々、ドキュメンタリー番組を収録してくれているTV局の鳥居さんチーム、応募要項を配布してくださった皆さん、そして審査員の皆様、関わってくださった全ての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

カンボジア在住の皆様から、本当にたくさんの力をいただきました。

## 収支報告

昨年12月のチャリティパーティ・応援会費の一部・授賞式賞金としてご協賛いただきました資金を、コンテストならびに授賞式開催経費として使わせていただきました。またコンテスト開催準備において何度か現地入りしている経費などは、こちらに計上せず主催者側にて負担させていただいております。

また、多くのサポーターの方々の稼働があり経費を大きく削減でき、良いコストパフォーマンスにて経費を有効に使うことができました。  
誠にありがとうございます。

今回も無事に授賞式を開催することができました。  
ご協力いただきました皆さまに心よりお礼申し上げます。

### ●第5回 ドリーム・ガールズデザインコンテスト費用 内訳 ※2014年8月の準備期間から授賞式当日までの費用

項目	金額(USD)
企業協賛費	9,317.00
ブルーミングライフより拠出	2,000.00
ドリーム・ガールズ・プロジェクト応援会費(一部)	904.90
合計	12,221.90

項目	金額(USD)
応募用紙2万部 印刷費	920.00
授賞式当日 会場費、司会費、撮影費、大道具(舞台パネル)など	1,630.00
授賞式当日用 小道具(タスキ、花、目録など)	280.00
アートデザイン部門 賞金代(上位3名+佳作9名)	1,750.00
プロモーション用コンテンツ制作	850.00
スクールエイドジャパン ファイナリスト(2名) 交通費 + 食費	60.00
シェムリアップ ファイナリスト(5名+保護者3名) ホテル代	120.00
シェムリアップ ファイナリスト(5名+保護者4名) 交通費 + 食費	240.00
イベント当日 特別ゲストお土産代	220.00
イベント当日 文具代	50.00
イベント当日 印刷代	150.00
イベント当日 参加者への配布ギフト	1,520.00
ドキュメンタリー映像制作費	1,000.00
アドバイスデー・審査日 会場費	700.00
アドバイスデー・審査日 文具代	76.90
孤児院訪問 文具費	30.00
デザインスキャン 印刷代	25.00
スタッフ交通費(TukTuk、タクシー)	580.00
プノンペン 事務局代行費(告知代行、事務局業務、ディレクション)	1,000.00
バタンバン・シェムリアップ 事務局代行費(告知代行、事務局業務、ディレクション)	1,000.00
バタンバン・シェムリアップ 応募用紙中折り作業	20.00
合計	12,221.90

## ドリーム・ガールズ・デザインコンテスト協力組織

多大なるご協力をいただき、今年も開催が可能となりました。組織の方々資金的支援をいただきました。下記の組織を代表とさせていただきます、たくさんの方々のボランティアのアクションがあり成り立ちましことに感謝を申し上げます。

### (1) メインスポンサーおよびスポンサー企業

- ・ いおんもーる CAMBODIA さま  
AEON MALL CAMBODIA 様
- ・ YAMADA SCHOOL OF ART 様
- ・ Sabay Digital corporation 様
- ・ HIS (Cambodia) Travel 様
- ・ MUSASHI Paint Company 様
- ・ SORANO HIKARI CAMBODIA 様
- ・ MATE(マテ) Global Communication 様
- ・ Masaru Saeki Certified Tax Account Office 様

### (2) サブスポンサー企業

- ・ WATAMI 様
- ・ みんなの夢アワード 様
- ・ 井関産業 様
- ・ Rabbit Radiance 様
- ・ WORLD (CAMBODIA) - FLAXUS TOKYO 様
- ・ Cocochi Cam 様
- ・ F-PORT TOKYO 様

### (3) 協力企業

- ・ CIESF Business Training Center 様
- ・ Daruma hide JAPAN 様
- ・ J-STYLE (CAMBODIA) 様
- ・ JIRAUD(ジロー) RESTAURANTS ASIA (CAMBODIA) 様
- ・ Bi-Salon 様
- ・ Cambodia Joho Service 様
- ・ Khroma Magazine 様
- ・ KURATA PEPPER 様
- ・ Starts (Cambodia) Corporation 様
- ・ TAYAMA BUISINESS SCH001 様
- ・ Nagomi-Project 様
- ・ Phnom Penh Post 様

主催： アジア女性の夢をカタチに 株式会社 ブルーミング・ライフ  
アジア夢をカタチに、デザインを通じた自立支援につながる事業を目指します  
<http://www.bloominglife.biz/>

2014年6月20日 wakana shop AEON MALL Phnom Penh がオープンします。DREAM GIRLS  
のデザインが商品とカンボジア女性が夢に向かいながら美しくなるための「DREAM GIRLS &  
Beauty」shop です。カンボジア女性が世界へ羽ばたくこと、彼女達の夢をカタチにすることを  
一つ一つ積み上げていきます。

共催： アジア女性の夢をかなえる NPO 法人 ドリーム・ガールズ・プロジェクト  
デザインを通じてアジアの女性の自立につながる教育支援を目指します  
<http://www.dreamgirlsproject.com/>

2015年の9月を目指してデザインのクラスを開講予定です。基礎をしっかりと学ぶことで世界に  
通用するデザイン知識を身につけられる学びの場所を作ります。

【ドリーム・ガールズショップ】

<http://dreamgirlsshop.com/>

### コンテスト授賞式での代表あいさつ

**ドリーム・ガールズ・デザインコンテストを代表し挨拶させていただきます。  
カンボジア、日本、タイ、ドイツ、インド、そしてアメリカから、多くのゲストとサポーターの皆さまと  
そしてドリーム・ガールズと共にこの素晴らしい舞台に再び戻れたことを嬉しく思います。**

**思えば 2009 年、私はアンコールワット-に行き、とても素晴らしいデザインに感動しました。  
私はカンボジア人には隠れたデザインの才能を持つ人がいるに違いない、そして多くの女性達  
がデザイナーになる夢をもっていることも知っていました。しかし、その道筋がないことも。**

**2011 年、2年かけて最初の第1回目のコンテストの構想を練り準備をしました。  
本当のことをいえばその時、私にはお金もなく(今もですが、、、)カンボジアの友人もいなく、  
何も、本当に何にもありませんでした。**

**でも、私には「夢」がありました。  
そして、5年たった今でも「同じ夢」をもち続けています。**

**私はデザインにおけるリーダー、デザインを通じたビジネス、デザインで成功するドリーム・ガ  
ールズを創出していきたいと考えています。**

**きょうは素晴らしい日です。なぜなら私達の人生が変わる日だからです。  
一緒に実現させましょう！ この上ない感謝をこめて。**

**温井 和佳奈**

3<sup>rd</sup> Place

Royal  
University of  
Phnom Penh  
Ms. Ouk Ratana



2<sup>nd</sup> Place

Royal  
University of  
Fine Arts  
Ms. Long Kim Heang



1<sup>st</sup> Place

University of  
Health  
Science  
Ms. Heng Somalika



- 当日はステージが5周年らしい華やかな雰囲気になりました



- 約400人の人々で会場は満席になりました



- アートデザイン部門 12名のファイナリストたち  
上位3名の受賞者が発表される緊張の瞬間です



- 見事1位を獲得したヘン・ソマリカさん。  
歴代の1位に囲まれて記念撮影



- 上位受賞者3名（左から3位、2位、1位受賞者）  
そのうち2名は、初めての応募で見事受賞者となりました



- 最後は全員で記念撮影

